

菊陽町公共施設等総合管理計画を改訂しました

☎ 財政課 財政係 ☎(2)3(2)2130

①計画の目的

菊陽町では、これまで人口の増加や社会構造の変化の中、住民の福祉の向上を目的として、公共施設の整備を進めてきました。今後、公共施設の老朽化などに伴い、公共施設の建替えや改修などの費用の増加が見込まれます。

この計画は、公共施設の現状を踏まえ、今後の人口構成の変化や財政状況をみながら、長期的な視点で、更新・統廃合・長寿命化を計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化し、公共施設等の最適な配置を実現するための基本的な方針とするものです。

②計画期間

本計画の計画期間は、平成29年度から令和8年度までの10年間です。国の指針の見直しなどを踏まえ、令和3年度に改訂しました。

⑤公共施設等の管理に関する基本方針

公共施設における現状と課題、施設の改修・更新に係る将来コストの試算の結果を踏まえ、建築系公共施設とインフラ系公共施設それぞれの基本方針を定めました。

【建築系公共施設】

- (1)必要性を検証する
 - ・公共施設ごとに、施設の目的や位置付けなどを確認し、今後も町がその施設を保有し、サービスを提供し続ける必要性について再検証する。
- (2)機能性の向上を検討する
 - ・施設の整備や配置を進めていくに当たり、行政分野の枠を超えた行政サービス（ワンストップサービス等）について検討する。
- (3)公平性を確保する
 - ・施設の利用状況や配置状況などを基に、利用機会の公平性を確保しながら、使用料等の見直しを行う。
- (4)建替えは、必要最小限にとどめる
 - ・長寿命化、維持補修などを適正に行い、既存施設の有効活用を図るよう進める。
- ・建替えが必要な場合は、費用対効



光の森町民センター キャロップシア

③施設の現状

〈施設保有量〉

建築系公共施設数 82施設	総延床面積 116,863.99m ²
道路延長	236.6km
橋りょう延長	6.7km
農道延長	49.7km
下水道延長	268.4km



防災センター



防災広場



菊陽町図書館

果、人口構成の推移を考慮し施設の規模などを検討し、必要最小限の整備とする。

(5)建替えなどの場合は複合化を検討する

- ・施設の統合・整理や遊休施設の活用、施設の複合化等によって、機能を維持しつつ、施設総量を縮減する。

土地は、有効活用又は処分を検討する。

(6)施設コストの維持管理、運営コストを縮減する

- ・PPP／PFIなど、民間活力を活用し、機能を維持・向上させつつ、改修・更新コスト及び管理運営コストを縮減する。

効果や経済波及効果を考慮し、新設及び改修・更新をバランスよく実施する。

(2)ライフサイクルコストを縮減する

- ・長寿命化を可能な限り図るとともに、計画的、効率的な改修・更新を推進、ライフサイクルコストを縮減する。
- ・PPP／PFIなど、民間活力を活用し、機能を維持・向上させつつ、改修・更新コスト及び管理運営コストを縮減する。

④将来の更新費用の見通し

建築系公共施設、インフラ系公共施設の更新費用は、今後40年間で965億円(年平均24.1億円)となる試算ですが、予防保全的に長寿命化対策を行った場合は899億円(年平均22.5億円)となり、66億円(年平均1.6億円)の削減となりました。

